



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日
東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所
 コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美 (TEL) 046-271-2124
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	32,801	△0.8	5,574	8.1	6,136	7.5	4,698	19.9
2020年9月期第3四半期	33,077	△14.0	5,156	△29.4	5,707	△25.2	3,919	△30.5

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 7,787百万円(94.7%) 2020年9月期第3四半期 3,999百万円(20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	284.96	252.65
2020年9月期第3四半期	219.04	206.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	76,973	53,629	69.6
2020年9月期	72,306	50,424	69.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 53,540百万円 2020年9月期 50,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	40.00	—	70.00	110.00
2021年9月期	—	40.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	70.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	△6.2	6,600	△2.3	7,100	△5.0	5,400	5.8	327.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) SPEEDFAM MECHATRONICS (SHANGHAI) LTD.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期3Q	20,869,380株	2020年9月期	20,869,380株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	4,627,691株	2020年9月期	3,913,888株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期3Q	16,489,138株	2020年9月期3Q	17,893,648株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 地域別販売状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年10月1日～2021年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の流行により多方面の経済活動が抑制されましたが、総体的には緩やかな回復基調となりました。

我が国経済につきましては、個人消費が弱含んだものの、設備投資や生産活動が底堅く推移するなど、景気に持ち直しの動きが見られました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、生産活動は総じて改善傾向が継続し、設備投資についても前向き姿勢が強まりました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、先端製品の需要が好調推移する中で、半導体デバイス向け設備投資に活性化の動きも見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高328億1百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益55億74百万円(前年同期比8.1%増)、経常利益61億36百万円(前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結子会社の持分譲渡に伴う特別利益9億80百万円を計上したことなどにより、46億98百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、設備投資及び生産活動の回復傾向がアジア地域に見られました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は188億58百万円(前年同期比2.0%増)、部門営業利益は32億51百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、半導体メモリー等の需要が高水準で推移し、取引先であるエレクトロニクス関連素材においても堅調な生産活動や設備投資が続きました。

このような環境の下、当部門として先端要求に適合した製品の拡販を図ったものの、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は139億43百万円(前年同期比4.5%減)、部門営業利益は23億82百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は769億73百万円と、前連結会計年度末に比べて46億67百万円増加しました。受取手形及び売掛金が7億95百万円、電子記録債権が12億3百万円減少した一方、現金及び預金が50億66百万円、たな卸資産が5億65百万円、流動資産のその他が1億90百万円、建物及び構築物(純額)が5億89百万円増加したことなどによります。

負債は233億44百万円と、前連結会計年度末に比べて14億61百万円増加しました。短期借入金が1億94百万円、賞与引当金が3億22百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が6億21百万円、前受金が11億51百万円、繰延税金負債が2億54百万円増加したことなどによります。

純資産は536億29百万円と、前連結会計年度末に比べて32億5百万円増加しました。自己株式の取得により27億11百万円減少した一方、利益剰余金が28億60百万円、為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が30億17百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、2021年4月30日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,267	26,333
受取手形及び売掛金	12,223	11,428
電子記録債権	3,960	2,756
有価証券	44	109
商品及び製品	5,647	6,530
仕掛品	4,355	3,997
原材料及び貯蔵品	2,922	2,963
その他	815	1,005
貸倒引当金	△553	△444
流動資産合計	50,683	54,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,430	8,020
土地	3,424	3,341
その他（純額）	2,924	2,985
有形固定資産合計	13,780	14,347
無形固定資産		
のれん	291	200
その他	510	503
無形固定資産合計	802	703
投資その他の資産		
投資有価証券	1,302	1,372
長期預金	4,662	4,790
その他	1,096	1,090
貸倒引当金	△20	△11
投資その他の資産合計	7,040	7,241
固定資産合計	21,623	22,293
資産合計	72,306	76,973

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,458	4,080
短期借入金	194	—
1年内返済予定の長期借入金	104	150
未払法人税等	722	637
前受金	4,592	5,743
賞与引当金	831	508
その他	1,357	1,442
流動負債合計	11,261	12,562
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	6,054	6,045
長期借入金	815	768
繰延税金負債	2,955	3,210
役員退職慰労引当金	151	88
退職給付に係る負債	435	465
その他	207	203
固定負債合計	10,621	10,782
負債合計	21,882	23,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	61,296	64,156
自己株式	△12,472	△15,184
株主資本合計	50,749	50,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259	320
為替換算調整勘定	△694	2,322
その他の包括利益累計額合計	△435	2,642
非支配株主持分	110	89
純資産合計	50,424	53,629
負債純資産合計	72,306	76,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	33,077	32,801
売上原価	22,410	21,821
売上総利益	10,667	10,980
販売費及び一般管理費	5,511	5,405
営業利益	5,156	5,574
営業外収益		
受取利息	358	355
受取配当金	19	19
為替差益	98	56
収用補償金	—	60
その他	174	226
営業外収益合計	650	719
営業外費用		
支払利息	25	26
社債発行費	45	—
自己株式取得費用	—	58
固定資産除却損	0	36
その他	27	36
営業外費用合計	99	156
経常利益	5,707	6,136
特別利益		
投資有価証券売却益	—	109
関係会社出資金売却益	—	980
特別利益合計	—	1,089
税金等調整前四半期純利益	5,707	7,226
法人税、住民税及び事業税	1,650	2,213
法人税等調整額	128	305
法人税等合計	1,779	2,519
四半期純利益	3,927	4,706
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,919	4,698

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	3,927	4,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	60
為替換算調整勘定	110	3,020
その他の包括利益合計	71	3,081
四半期包括利益	3,999	7,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,992	7,776
非支配株主に係る四半期包括利益	6	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月14日付の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、東京証券取引所における市場買付けにより、2020年10月1日から2021年4月14日までに普通株式713,700株、2,711百万円の取得を行いました。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、多方面の経済活動が抑制されております。当社グループにおいては、当第3四半期連結累計期間の業績に重要な影響ではないものの、一定程度の影響を受けております。

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束時期について2022年9月期第1四半期を想定しておりましたが、当四半期においては、当該感染症の流行が継続していることなどから、当社グループの業績に対する影響につき改めて検討を行い、当該感染症感染拡大の収束時期について2022年9月期第4四半期から業績が緩やかに回復することを想定しております。

当社グループは、利用可能な情報・事実に基づき、当該感染症感染拡大の期間とその影響についてリスク・不確実性を考慮し、会計上の見積りを行っております。

但し、将来の不確実性により、最善の見積りを行った結果として見積もられた金額と事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,485	14,592	33,077	—	33,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	4	△4	—
計	18,486	14,596	33,082	△4	33,077
セグメント利益	2,943	2,279	5,223	△66	5,156

(注) 1 セグメント利益の調整額△66百万円には、セグメント間取引消去△4百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△62百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,857	13,943	32,801	—	32,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	1	△1	—
計	18,858	13,943	32,802	△1	32,801
セグメント利益	3,251	2,382	5,634	△59	5,574

(注) 1 セグメント利益の調整額△59百万円には、セグメント間取引消去△1百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△58百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年7月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施しました。

1 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を目的として、自己株式の取得を行うものであります。

2 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類：当社普通株式

(2) 取得しうる株式の総数：400,000株（上限）

(3) 株式の取得価額の総額：1,542百万円（上限）

(4) 取得方法：東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け

(5) 取得期間：2021年7月27日（約定日ベース）

3 自己株式の取得の状況

上記自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による取得の結果、2021年7月27日に当社普通株式219,700株（取得価額846百万円）を取得しました。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2021年7月27日をもって終了しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	15,240	△1.7
平面研磨装置関連事業	10,472	△2.7
合計	25,713	△2.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	19,781	+3.7	6,637	△4.4
平面研磨装置関連事業	17,733	+30.1	17,942	+17.4
合計	37,514	+14.7	24,580	+10.6

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	18,857	+2.0
平面研磨装置関連事業	13,943	△4.4
合計	32,801	△0.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	13,498	15,320	2,807	1,175	32,801	—	32,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,550	1,340	39	26	3,956	△3,956	—
計	16,048	16,660	2,847	1,201	36,757	△3,956	32,801
セグメント利益	2,667	2,705	214	37	5,624	△50	5,574

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。